



答弁中の中嶋町長

ここが聞きたい!!

一般質問



稲永 信英 議員

住民の安全・安心をどう守る 警察署と連携を密にとる

■問
拳銃発砲による凶悪な殺人事件が須恵中学校の近くで発生したが、町民の願いは安全・安心な住みよい町づくりである。銃凶器使用等の凶悪事件、街頭犯罪が発生した場合の緊急通報体制などはどのようにしているのか。

①治安維持の拠点となる須恵交番の現状と即応体制はどのようにしているか。

②銃凶器使用などの凶悪事件や街頭犯罪が発生した場合に行政としてはどのように対処するのか。

③学校などの教育現場における緊急通報体制は十分なシステムになっているか。



粕屋警察署「須恵交番」

■答
中嶋町長
主として、百十一件で延べ六千名の方々が利用されています。

町内・町外の利用率は、町内半分・町外半分かぐらいです。

通常三月から五月の三ヶ月間を養生期間として充てています。

糟屋地区内いろいろな社会体育施設がありますので、費用対効果は生まれているという施設はほと

④安全・安心な町づくり推進はどのようにしているか。

■答
粕屋警察署管内には九つの交番があり、須恵交番は取り扱った事件数が二番目に少ないそうです。

交番に直接出向いた場合、警察官が在所すれば、警察官が在り、現場確認や書類作成を行ってくれます。不在の場合は、机の上の受話器をとれば粕屋警察署につながります。

また、急を要する時は一一〇番に電話することで直接福岡県警の本部通信指令室につながり、粕屋警察署と須恵交番へと指令が流れるようになっています。

②情報源となるのは粕屋

り、現場確認や書類作成を行ってくれます。不在の場合は、机の上の受話器をとれば粕屋警察署につながります。

また、急を要する時は一一〇番に電話することで直接福岡県警の本部通信指令室につながり、粕屋警察署と須恵交番へと指令が流れるようになっています。

②情報源となるのは粕屋

警察署です。警察署と連携を密にとり防災無線による放送や、小中学校のPTAの連絡網による注意喚起を行います。

③緊急通報システム・トランシーバーを教室あるいは校外活動に携行し、緊急の場合は即時連絡がとれる体制をとっています。

④地域から犯罪をなくす活動として、青少年指導員や地域コミュニティー、あるいはボランティア団体によるパトロール活動も行っています。

今後は、安心安全町づくり条例を制定し、町民・事業者それぞれが連携及び協力の下、安全安心まちづくりを推進する体制を築いていきたいと考えています。また、緊急通報体制への確立のため情報のメール配信についても検討していきます。



今村 桂子 議員

■問
運動公園の多目的広場が芝になってから、約四年が経過しました。おもに、サッカー競技に利用されていますが、利用状況（年間件数、月別件数、利用団体の町内・外別など）養生のための休場期間について質問します。

また、公園内緑地管理業務委託料として、年間七百八十七万五千円の随意契約で芝の管理等がされています。

十九年度の利用件数については、百十一件で延べ六千名の方々が利用されています。

町内・町外の利用率は、町内半分・町外半分かぐらいです。

通常三月から五月の三ヶ月間を養生期間として充てています。

糟屋地区内いろいろな社会体育施設がありますので、費用対効果は生まれているという施設はほと



町民運動会が行われた“多目的広場”

若杉の森運動公園 多目的広場の今後の方針

使用料金を見直す

る状況で、費用対効果の観点などから町長の考えや今後の方策を聞きたい。

■答
中嶋町長
主として、百十一件で延べ六千名の方々が利用されています。

町内・町外の利用率は、町内半分・町外半分かぐらいです。

通常三月から五月の三ヶ月間を養生期間として充てています。

糟屋地区内いろいろな社会体育施設がありますので、費用対効果は生まれているという施設はほと

らんどありません。収入と施設管理費用がアンバランスの状況だけで費用対効果が生まれない、生まれないから廃止すればいいということではないと思います。

専用の球場・競技場で行うことによる土気の高まり、将来の素晴らしい選手の育成、健康問題ま

た環境問題等考慮し、バランスの問題を考えたかなければならないと思っています。

そういったことから、使用料金を見直しながらどの辺がベターなのか考慮し、利用者数を増やしていく方向で検討していきます。